

異業種交流会で発表しました

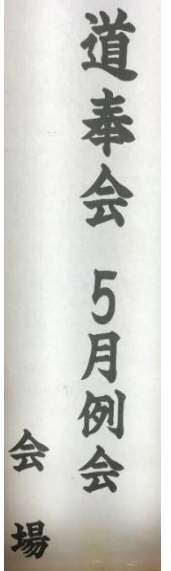
学校法人河野文化学園 明星ビューティカレッジ理事長様のご推薦を受け、5月17日(火)に道奉会5月例会において、最近の学校現場の様子と大分教育事務所の取り組みについてお話しをさせていただきました。

道奉会について (会則より)

発会: 1978年(昭和54年)大分市内の有志によって発会する。異業種交流の草分け的存在。

会長: 河野剛(学校法人河野文化学園 明星ビューティカレッジ理事長)

会員職業: 建設会社、税理士、自動車学校、自動車整備工場、生花店、歯科医、司法書士、デパート、電気工事お茶屋、土地家屋調査士、文具店、青果商、ソフトウェア開発、放送局、大学教授、印刷会社、保険事務所、メガネ、国会議員、県議会議員、市議会議員、広告、医師、環境開発、政治家秘書、生保、損保、職業紹介、とび業、高校教員、鉄道業、飲食店・・・



講話の途中で、参加された皆さんに聞いてみました

「子どもにつけさせたい力」は!

人にものを教える ありがとうございます

- ・相手をおもいやる力(相手の気持ち、立場が理解できること)
- ・馬鹿な夢を追える子ども ・常識外れ
- ・はやく70点をとれる力 ・一番先に手を挙げる(行動)する力
- ・自分で考える力 ・自立心 ・判断力 ・勝つ事への執着心
- ・リベラルアーツ(「なぜ」「どうして」をもつ) ・自ら考え判断する力
- ・相手のことをよむ力(コミュニケーション力) ・実行力(動く力)
- ・正しい言葉遣い ・相手の立場を理解する力と行動
- ・親を敬愛する心(親も子どもを敬う心) ・接客(接遇) ・表現力
- ・素直さ ・子どもらしさ ・命を考える力 ・競争心
- ・思いやり ・考える力 ・善悪の判断力 ・我慢する力
- ・事実から学ぶ力 ・事実を受け入れる力 ・現実から逃げない力
- ・自分のことは自分でできる力
- ・教えられる事になれて指示待ち人間が増えている。自分で考える判断できる力
- ・便利さを追求し過ぎると不便になる。さじ加減が必要。



研修評価 3.8/4

- ・褒めるの語彙力が誉められ慣れていない子供は欠如している。それが褒められないに繋がる。
- ・楽しく学びました。ほめることもしかることも、相手にどのような力をつけたいかが、大切。目的と手段ですね。
- ・楽しいことは伝わりやすいですね。ここがけます。

自身、ありがとう、ごめんなさい、常識、そして何か
を学ぶ。社員の個性を大切、指導して頂きたいと
感じました。ありがとうございます。

大人がいかにはめ言葉を知らないと
に気が付いた。

- ・楽しいお話でした。ほめること、しかることは目的ではなく、手段であることを改めて感じました。しかし、なかなかほめることはむづかしいですね。心がけます。職場だけでなく家庭で行いたいと思います。ありがとうございました。